

ささえあえる街に 住み続けたい



(財)狭山ささえあい福祉公社設立

来年4月、これからの福祉の基盤となる介護保険制度がよいよスタートします。一方、福祉に対するニーズはますます多様化・高度化し、高齢者や障害者だけでなく、すべての人が「本当に豊かに住み続ける」ためには、今までよりも、もっときめ細かな福祉サービスが必要となってきました。

地域で真に豊かに暮らしていくためには、自分たちの意思で共に助け合い、ささえあう「コミュニティ意識」が必要です。さらに、こうした考え方を生かした福祉システムづくりが求められています。

狭山市では、だれもが自立して健康な生活が送れるよう、市民の・市民による・市民のための福祉活動」である財団法人狭山ささえあい福祉公社が、9月1日にスタートしました。今回は、新しい時代の新しい福祉システム(財)狭山ささえあい福祉公社」についてお知らせします。

街のつ・ぶ・や・き

○最近腰が痛くなって、庭の草むしりができないの。だれかに頼むって言うてもなかなかねえ……。

○朝から下の子が熱を出しちゃって……。だれかお兄ちゃんを迎えに行ってくれないか……。

○料理も掃除も、家事はほとんど自分でできるんだけど、買い物だけは足が痛くなって……。

○目が悪くなってから、風呂場のタイルの目地が黒くなっていても気が付かなくて。大掃除だけ、だれかお願いできたらスッキリするの……。

○おじいさんが大切にしていた庭木、最近ほったらかしで伸び放題。せめて枝落としだけでもまださういふだけ、プロに頼むと高いしねえ……。

「つ・ぶ・や・き」は、だれかお願いがなくてもいいよ。



(財)狭山ささえあい福祉公社が 設立されるまで

平成6年8月29日～平成8年2月8日

「狭山市の福祉公社の在り方について」報告書を作成、市長に提出。この報告書をもとに狭山市社会福祉審議会に諮問後、答申が提出された。社会福祉協議会との役割分担、介護保険との関係などを検討。

平成9年7月29日～9月8日

「在宅福祉サービスの在り方に関する学習会」開催、延べ281人の市民が参加。

平成9年9月17日～11月12日

「在宅福祉サービスの在り方検討委員会」開催。

平成10年5月13日から

「在宅福祉サービスささえあい狭山設立準備委員会」発足。

平成11年3月10日

「福祉公社設立準備委員会」発足、福祉公社設立に関する基本的な事項を審議。

平成11年4月1日

「在宅福祉サービスささえあい狭山」事業開始。

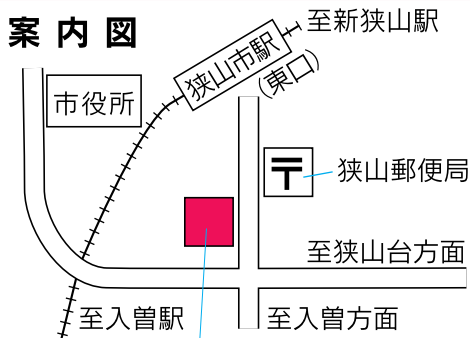
平成11年6月～8月

「(財)狭山ささえあい福祉公社」の設立許可申請を提出、許可後、設立登記を完了。

平成11年9月1日から

「(財)狭山ささえあい福祉公社」事業開始。

案内図



(財)狭山ささえあい福祉公社
富士見1-14-11 北野第2ビル
☎956-7665



介護保険制度が始まります 私たちの身近な福祉は どのように変わっていくのでしょうか

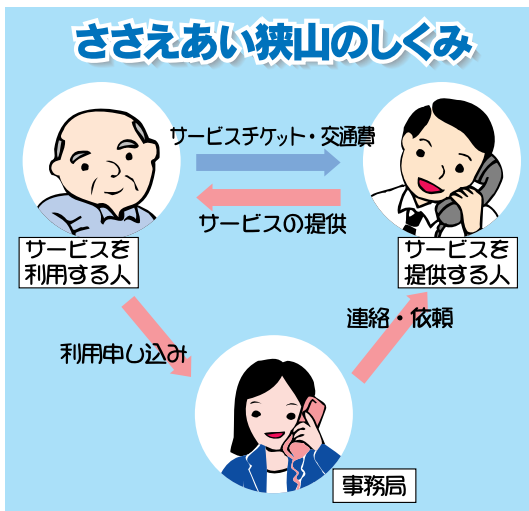
「映画鑑賞が趣味だったのに、足が悪くなってから、もう何年も観に行っていない。「子どもと一日じゅう顔をつきあわせていると、育児ノイローゼになってしまっそう。だから1時間でもいいから、見ていてくれないかしら。こんなつぶやきが、最近街にあふれていませんか。このよ

うな悩みや思いを抱え人は本当に心豊かに暮らしていけるでしょうか。ほんの些細な希望や願いが、だれにとっても当たり前前に実現できる社会をつくるためには、何が必要なのでしょう。それは、人と人のつながりであり、温かい心であり、現代の日本人が、忙し過ぎてどこかに置いてきてしまったものではないでしょうか。

これからの私たちの身近な福祉には、だれもが自分の意思で助け合い、ささえあい共に生きるコミュニティをつくる必要があるようになってきます。ただし、そのために自分の生活スタイルまでを変えてしまふのは考えもの。ではどんな形がこれからの福祉にぴったりののでしょうか？

この、さまざまニーズに対応できる、しかも心の通い合った温かい福祉システムが、9月1日に狭山市でスタートしました。大勢の市民の皆さんが中心となり、生活の中の声やアイデアがたくさんあった、本当に心豊かに暮らすための「(財)狭山ささえあい福祉公社」です。

ささえあい狭山のしくみ



市民の・市民による・市民のための 財団法人狭山ささえあい福祉公社では こんなサービスが受けられます

在宅福祉サービス・ささえあい狭山

「ホームヘルパーさんに頼むほどではないけれど、ちょっと困っていることがある…」

こんなときは、住民参加による在宅福祉サービス「ささえあい狭山」をご利用ください。

利用するためには、個人または家族で会員になっていただきます。年会費は、個人会員が2千円、家族会員が3千円です。

会員同士がささえあうシステムですので、実際

にお宅に伺ってサービスを提供するのは、ささえあい狭山(福祉公社)の会員です。サービスを利用するかた・提供するか

た・コーディネート・三者が事前に十分打ち合わせをした後、サービスを行います。もちろん、コーディネートもサービス提供者も、プライベートは厳守します。また、万が一、事前打ち合わせの段階で不安がありましたら、提供者を変更することもできます。

この事業は、気兼ねなくサービスを受けられるように、有償とします。謝礼は、事前打ち合わせのときに購入していただくサービスチケットで、サービス終了後に支払います。チケット1枚で30分のサービスが受けられます。チケット1枚の値段は、事務費50円を含む350円です。実際にサービスを利用する場合は、このほかに交通費などが必要です。サービスを提供した会員は、原則として、提供した時間を預託します



今日は電気のかさ掃除。「家の中が明るくなった。」と、とても喜んでくれました。

が、事務費を差し引いた金額を現金で受け取ることもできます。現金の取り扱いと時間預託は、福祉公社で行います。

サービスの内容は、話し相手・食事の支度・庭の手入れ・掃除・洗濯・付き添いなど、暮らしの中のちょっとしたお手伝いです。専門の知識や免許、資格は必要ありませんので、もっと心豊かな毎日を過ごせるよう、皆さんも参加してみませんか。

ホームヘルプ事業

「寝たきりのおばあちゃん介護はプロにおまかせしたい。」

ホームヘルプサービスが、市から福祉公社に委託されます。現在サービスを受けているかたは、今と同じ

サービスが継続して受けられます。さらに、今後は利用時間を拡大するなど、より柔軟にサービスを提供できるようにします。

ホームヘルプサービスの申し込みは、(財)狭山ささえあい福祉公社へご連絡ください。

ファミリー・サポート・センター

「近所に子どもを預けられる人がいなくて、困っています。」

子育てをしているかたを支援するサービスです。働いているかたに限らず、すべての子育て中のかたにご利用いただけます。

子どもを自宅で預かりたい「預かる会員」と、預けたいかたの「預ける会員」、両方に登録する「両方会員」のいずれかに登録していただきます。年会費は1千200円です。

このファミリー・サポート・センターも、気兼ねなく利用できるよう、有償です。費用は1時間につき700円のほか、食費や交通費などの実費です。支払い方法は、ささえあい狭山と違い、サービス提供後に会員

ささえあえる街に住み続けたい



狭山市長・町田潤一

福祉に対する市民の皆さんのニーズは年々多様化、高度化しています。私は、このような状況の中で来年4月からスタートする介護保険制度が、これからの福祉の大きな基盤となると確信しております。しかし、人が心豊かに暮らし続けるためには、さらにきめ細かい、温かなサービスが必要になります。

この(財)狭山ささえあい福祉公社が、市民の皆さんの協力によって設立されたことは、これからの狭山市の福祉行政にとって大きな意味を持つものです。設立にあたり、多くの皆さんが自らの問題としてこれからの在宅福祉のあり方と、それを支える組織を、さまざまな角度から調査・研究されたことに敬意を表するとともに、厚く感謝し、この福祉公社が21世紀という希望に満ちた新しい時代に応じた、新しい福祉サービスを積極的に展開されますよう、ご期待申し上げます。

温かな、よりきめ細かな福祉サービスの展開を期待します

同土で現金をやりとりしていただき
ます。
サービス方法は、預ける会員の条件に合うお宅を、預かる会員の中からアドバイザーが選びます。預かるお宅が決まったら、アドバイザーも同席し、事前打ち合わせをします。お子さんの好みや習慣などを細かく打ち合わせますので、初めてののかたも心配なことを解決してから預けられます。
子どもが大きくなり、もう一度子育ての喜びを体験したいというかた一人っ子に遊び相手を、というかたなど、多くの皆さんが自分の生活ス

タイルに無理なくこの事業を取り入れ、預ける会員も預かる会員も、より心豊かに暮らせるように、頑張っています。

在宅介護支援センター事業

「在宅介護で利用できる制度はどんなものがありますか。」

在宅介護者に対する介護研修や、

さまざまな相談を行います。

一人ですべてを抱え込み、悩まないで、ぜひご利用ください。あなたに合ったサービスや制度をご紹介します。

財団法人狭山ささえあい福祉公社理事長と福祉公社のサービスを利用している市民の皆さんに伺いました

(財)狭山ささえあい福祉公社
理事長・小沢孝志さん



私が21世紀を目前にしたこれからの福祉を考えると、最も重要だと思っているのは

「だれもが安心して暮らしていくために、市民自身が自分たちの意思で助け合い、共にささえあう地域社会を育てなければならぬ。」ということ。そして今まさに、そのために私たち市民が持つ知恵と力を発揮することが求められていると思うのです。

このほど設立した(財)狭山ささえあい福祉公社は、これからの福祉社会に対応できる、新しい公益法人です。この、芽を出したばかりの新しい福祉システムの理事長として、今後はその特性である「柔軟性」と「迅速性」を十分生かし、本当に必要な福祉サービスを、市民の皆さんをはじめ各関係団体の皆さんの協力をいただきながら、しっかりと地域に根ざしたものととして展開していきたい

と考えています。福祉公社のサービスを多くのかたに利用していただき、もっともっと、狭山市を住みよい街としていきたいものです。

ホームヘルプサービスの現場からサービス利用者(高橋 久さん・狭山台在住)

私は、車いす生活の妻と二人暮らしです。いつもできるだけ外に出て、いろいろな人と会わせることを心がけています。ホームヘルパーさんには、火・金曜日に来てもらい、買い物や掃除などをお願いしています。妻はヘルパーさんと一緒に買い物に行くことが何よりも楽しみな様子で、雨が降って出かけられないと、本当に残念そうです。これからも、障害者を介護する者として、いろいろなところに顔を出し、意見も言いながら、だれもが住みよい街になるよう考えていきたいですね。

ホームヘルパー(岸本幸子さん・人間川在住)

私が皆さんのお宅に伺うときに気をつけているのは、「慣れていても



週1度、ヘルパーさんとの買い物がとても楽しみです。

毎日が初心のつもりで」ということです。私よりもずっと人生経験の豊かな人のお世話に伺うのだから、勉強になります。私は、他市の人から「狭山市って福祉がいいんだよね。」と言ってもらえるようになったらいいと、ずっと思ってきました。福祉がいいと言ってもらえる街、それが、

住民みんなが気持ちよく豊かに暮らしていける街だと思っからです。福祉公社も設立し、これからますます狭山市の福祉が変わっていくと思えますが、少しでもその実現に近づくと、毎日頑張っていきたいです。

「ささえあい狭山」サービス利用者・提供者から

サービス利用者(立澤みきさん・富士見在住)

私は目が不自由なので、二人の子どもの保育所の送り迎えに困ることがありました。ふだんは自分で送り迎えができませんが、雨の日や二人のうちどちらかが病気になるとうき、保育所から持ち帰る荷物が多いときなど、私一人ではどうにもならないことが多かったのです。「ささえあい狭山」のサービスが開始してすぐに、私の希望をすべて満たすようにコーディネーターしていただけたので、本当に安心して暮らせるようになりまし。今はコーディネーターさんが調整してくださったスケジュールにしたがい、毎朝8時にサービスを提供してくださるかに、「今日はお願ひします。」などと電話するだけで済みます。朝あわてて都合を聞く必要がありませんし、「明日は大丈夫だろうか。」と心配することもありません。とてもありがたく利用させていただいています。

この「ささえあい狭山」は、文字どおりささえあいの気持ちで皆さんがお手伝いをしてくださるし、些少ですが謝礼をお支払いするので、あまり気兼ねすることなくお願いでき

ます。私は現在のところ利用するばかりですが、もしできることがあったら、ぜひだれかのお手伝いをさせていただけようと思っています。

きつと、市内にはまだまだ困っているかたが大勢いらっしやると思いますが、「ささえあい狭山」の活動がもっと市民生活に浸透し、広がっていくといいですね。

サービス提供者(国重 颯さん・狭山台在住)



困ったときはお互いさま。そんな気持ちでこれからの街づくりに関わっていけたらいいですね。

立澤さんについては「ささえあい狭山」の活動開始直後からお手伝いさせていただきます。喜んでいただけてうれしいです。

三人でローテーションを組んでサービスを提供していますので、自分の都合がよいときに無理なくお手伝いできます。

この「ささえあい狭山」は、みんながささえたり、ささえあったりできるシステムです。提供を希望している会員が大勢いますので、一見「難しそうだな。」と思うような場合もたいたい対応できますし、いろいろなニーズに応えられると思います。

私は、「ささえあい狭山」の根底に流れる「ささえあう気持ち」、これが今後の福祉に必要となるものだと考えています。私自身、今は健康ですからだれかのお手伝いをする人が多いのですが、「きつとこの先、困ったときにはどなたかにお願ひすることもあるだろう。」そんな気持ちで、あまり肩ひじ張らずに活動しています。ささえあい狭山の活動が広がっていくことはもちろんですが、「ささえあつて生きる」という気持ちで、この狭山市にもっともつと根つき、立澤さんのように安心してこの街に暮らせる人が増えるといいですね。

「ファミリー・サポート・センター」預かる会員・預ける会員から

預かる会員(阿部枝久美さん・祇園在住)

私は二児の母です。お兄ちゃんとその友だちが下の子とよく遊んでくれるのですが、今年の春から幼稚園

ささえあえる街に住み続けたい



今日は僕がお兄ちゃん。
大好きなおもちゃも、いっぱい
貸してあげるよ。

に通い始めたので、弟が私と二人きりで過ごす時間が多くなりました。そうなるとうちもは私にベッタリ甘えてきますし、私自身もおもちゃが散らかっていたりするととても気になる、余裕を持って子どもに接することができなくなりました。

そこで、ファミリー・サポート・センターに登録し、今までに6回、お子さんを預かりました。もちろん、初めは不安でしたが、実際に

預かってみると子ども同士、喜んで一緒に遊ぶので、私自身はそれほど気を揉むことがありませんでした。よその子がいることでもかえって余裕ができ、自分の子どもにも優しくなれたのです。5歳までの子育てを経験しているの、それまでの子どもなら何とかなると思いますし、預かっている間も自分なりの時間配分で、買い物などにも二人一緒に連れて行くので、とても自然です。それに、うちは男の子二人なので、女の子を預かるときは私も待ち遠しく、小さい子には、下の息子がお兄ちゃんになったように、優しくいたわりながら遊んでくれるので、親子共々預かる会員になってよかったと思っています。

預ける会員（溝井真知子さん・富士見在住）

派遣の仕事があり、今回初めてファミリー・サポート・センターをお願いしました。事前に打ち合わせをするので、安心してお願いできましたし、比較的近所のかたを紹介していただいたので、移動時間があまりかからず、忙しい朝は特に助かりました。また、私は預けるとき条件として一緒に遊んでくれるお子さんがいるお宅を

お願いしたので、おもちゃなどを持参しなくて済みました。娘はと言えば、よそのお兄ちゃんと遊べて楽しかったらしく、笑顔で出迎えてくれてホッとしました。幼稚園の保護者の間でもファミリー・サポートが話題になります。会員になっている人は少ない様子です。このような制

「もう帰っちゃったの?」
ちよっぴり寂しいバイバイの時間。「今日はありがとう。また遊んでね。」



ささえあいの形はさまざま 本当に豊かな暮らしのために 自分のできることから、始めませんか

今回取材をさせていただいた皆さんは、「できる人が、できるときに、できることをするのは当たり前」「お手伝いは、人のためだけでなく、自分のためにもなるのです」と、気分よく話してくれました。

福祉の制度やサービスが充実しても、これで100%ということはありません。隣近所で助け合う自治会や、災害時に活躍する消防団・女性消防協力隊、地元の活性化のために頑張る商店街など、たくさんの方に、

地域はささえられています。こんなふうに、スタイルは違っても、一人がささえあってこそ、だれもが「住み続けたい」と思える街になるのではないのでしょうか。

「狭山市がふるさとです。」と、胸を張って言えるよう、できることから始めてみませんか。

問い合わせ(助)狭山ささえあい福祉
公社へ ☎ 956・7665
編集責任広報課へ内線 7161